

戦 評 用 紙

平成26年度 埼玉県高等学校バスケットボール新人大会

会 場 上尾運動公園体育館 平成27年1月18日
 対 戦 Cコート第3試合

和光国際高校	50	$\left\{ \begin{array}{l} 14 - 26 \\ 4 - 25 \\ 8 - 33 \\ 24 - 19 \end{array} \right\}$	103	正智深谷高校
--------	----	--	-----	--------

共に2敗を喫し、迎えたリーグ戦最終試合。関東新人大会への道は断たれたが、第3位の座をかけた1戦となった。

双方マンツーマンでスタート。正智 #11 がいきなりの4連続ゴールで上々の滑り出し。#5 とのコンビネーションも冴えわたる。対する和光国際、#4 が連続してジャンプシュートを沈め、更には#6 の3Pも飛び出し喰らい付く。しかし正智 #11 の勢いは誰も阻むことができない。ハイポストからの1対1、3Pも沈め、ピリオド19得点をあげる。

第1P終了、和光国際14-26正智深谷。

第2Pに入ると、正智 #11 以外の選手も目を覚ます。#6 の3P、#4 のドライブイン等が決まりだす。残り6分正智 #6、#8 をベンチに下げ、#12、#15 をコートへ送り出す。替わったばかりの#12、ゴール下でよく踏ん張りシュートをねじ込み、更にリードを広げていく。一方の和光国際、#5 を中心にゴールを狙うも容易にシュートを打たせてもらえない。疲れがチームに見え始めターンオーバーを連発してしまう。第2P終了、和光国際18-51正智深谷。

第3P、メンバーをスタートに戻した正智、内外角バランスのとれたオフENSEを展開、残り6分オフENSEの要 #11 をベンチに下げる。和光国際 #8 のドライブイン、#6 の3Pで巻き返しをはかるも単発で終わってしまう。残り3分、正智メンバー全員を交替。#13 の3P等で和光国際を寄せ付けず、その差を更にひろげていく。第3P終了、和光国際26-84正智深谷。

第4Pに入っても正智の足は動き続け、スピード感溢れるバスケットを展開する。#12、#13 が着実に得点を重ねていく。和光国際ここで意地を見せ #6、#8 の3Pで応戦するも時すでに遅く、選手層の厚さと機動力に勝る正智深谷に敗れてしまった。

試合終了、和光国際50-103正智深谷。

(記録者:越谷北高校 永江健一)